

桑野塾

桑野塾 検索

<http://deracine.fool.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。
どなたでもご参加いただけます。
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

第17回

2013年
6月15日(土)
15:00 ~ 18:00

早稲田大学 早稲田キャンパス16号館 820号室

★ どなたでもご参加いただけます。会場に直接お越しください。参加無料。

☆ 終了後、近くの居酒屋で懇親会を開催します。(飲食費は別途)

※予約の都合上、懇親会参加をご希望の方はなるべく事前にご連絡いただくと助かります。

※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。



サーカスは、舞台裏もアクロバティック

報告者:大島 幹雄

サーカスプロデューサーが語るサーカスの舞台裏

今年2月に出した拙著「サーカスは私の〈大学〉だった」でとりあげた16の体験談にちなんだ映像資料を見ていただいたうえで、このエッセイ集でとりあげられなかった舞台裏エピソードとして、タジキスタンのサーカスとの出会いと今年初めて訪れたタジキスタンの話をとりあげます。

(私の大学)テキスト版2

『サーカスは私の〈大学〉だった』

大島幹雄著/こぶし書房刊

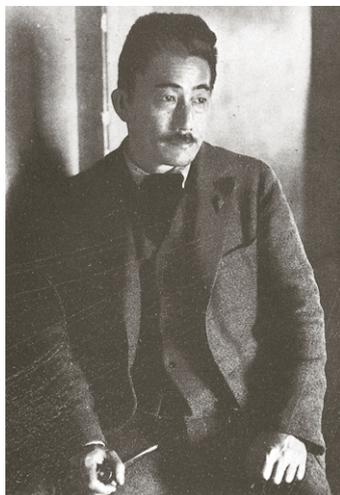
定価:1,890円(本体:1,800円)/四六判/164頁/2013年2月28日刊

ISBN:978-4-87559-272-3



わからない人? 小山内薫

報告者:武田 清



小山内 薫(1881-1928)

明治・大正・昭和を駆け抜けた「新劇の父」の実像を追う

小山内薫(1881~1928)と聞くと、すぐに二世市川左団次と自由劇場を創設して、わが国で近代劇を上演したパイオニアだったとか、築地小劇場の演出家の一人としてわが国の新劇をリードした人だったとか、そういう答えが返ってくる。

だが、彼は演劇という世界にあって実に視野の広い、かつマルチな人だった。新劇のみならず、歌舞伎や新派とも関わって、商業演劇でも台本を書き、演出をした。しかも、あの時代にあつて政治的に中立の立場を取り続けた。

そんな彼の晩年を「わからない人?」という問いを立てて、考えてみたい。



小山内に大きな影響を与えたロシアの演出家
フセヴォロド・メイエルホリド(1874-1940)